

更別村

川真田 奈央

1. 概要

1.1 概要

更別村は北海道、十勝地方の南部にあります。東は幕別町、西は中札内村、南は大樹町、北は帯広市とそれぞれ接しており、十勝の母都市である帯広市から南へ35kmの地点にある。

1.2 村章

「更別」の村名を農産物であるじゃがいもやクローバーに模した葉形で包み、風雪に耐えぬいた先人の開拓者精神をもとに、未来へ大きく翔くことを表している。

1947年、更別村が大正村から分村して誕生したのを機に翌年条例で制定された。

1.3 地名の由来

村名の「さらべつ」は、その昔サラベツ川、サッチャルベツ川流域が葦や茅に覆われた平原であったことを意味するアイヌ語の「サラ・ベツ」（葦や茅が生い茂る地）を当てはめたことからきている。このことから、更別村のかつての自然を想像することができるであろう。

1.4 村の名樹木、名花

更別村の名樹木は柏、名花は鈴蘭である。更別村に開拓のくわがおろされるまでは柏樹木が多く、先人はこの柏木を薪炭などとして販売し、経済の支えとした。鈴蘭は、植物の特性から柏樹木に生息する草花で、柏と鈴蘭は、村の草木である。鈴蘭は、植物の特性から葉の下に花をもち、純白、清純で香り高く美しく咲き女性的な花で、無限に発展する更別村を象徴するものである。

図1 更別村の位置



出所：更別村ホームページ

図2 村章



出所：更別村ホームページ

画像1 更別村の名樹木 柏



出所：Yahoo!検索画像

2. 歴史

2.1 更別村の成立までの歴史

更別村は、1947年河西郡大正村（現帯広市の一部）から、幸震（こうしん）村、幕別村、別奴（べっぢゃろ）村の3大字の各一部が分村し、更別村が成立した。また、三大字はそのまま本村の大字に継承された。そして、1948年には幕別町から、勢雄（全部）、弘和（一部）の2字を編入し、本村内は3大字と2字となる。1952年には、3大字を3字に再編し、本村内は5字となった。

画像2 更別村の名花 鈴蘭



出所：Yahoo!検索画像

2.2 開村記念の歴史

1971年には更別村の限りない発展とより良い村民となることを願って更別村民憲章が制定され、翌年の1972年には、先人の厳しい開拓の苦労とその偉大な努力をたたえ、大きく伸び行く更別村を象徴して村旗が制定された。そして、1980年に開かれた第1回村議会定例会で毎年9月1日を開村記念日に制定することを決定した。

図3 カントリーサイン



出所：北の道ナビ

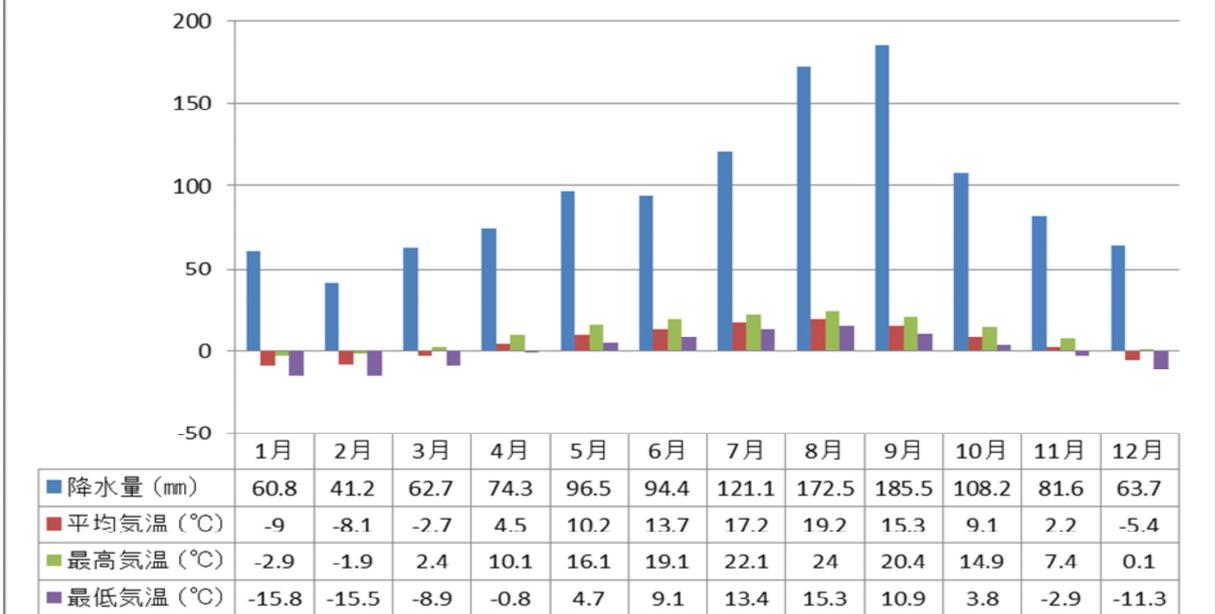
2.3 災害の歴史

1972年、1979年、1981年に台風の被害を受け、三度目の台風による被害額は9億5000万円に上った。1993年には釧路沖地震が発生し、マグニチュード7.8、帯広・広尾で震度5を観測した。翌年の1994年にも北海道東方沖地震が発生し、幸い更別村での大きな災害は認められなかったものの、前年の地震の後ということもあり、地震に対する恐怖を募らせるきっかけとなった。

3. 地理・気候

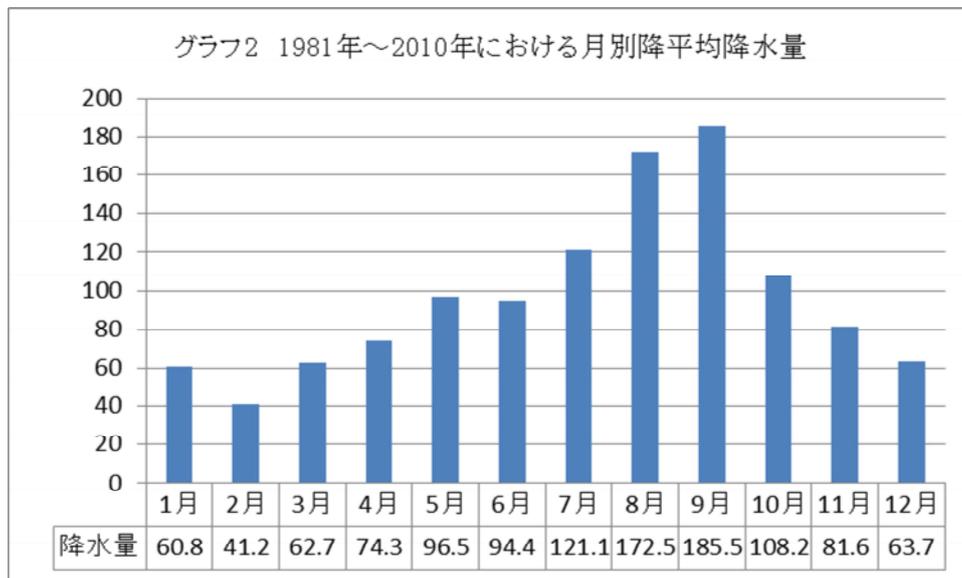
更別村は、北緯42度39分、東経143度11分に位置し、面積は176.77平方kmである。道東は、日本でも最も降水量の少ない地方である。これは台風の襲来や梅雨の影響が少ないからである。更別の年間降水量雨量は、1152.8mmで、十勝管内では中位に属する。降雨量は、8月、9月に多く、5月、6月は比較的に少ないのも梅雨の影響の少ないことを示している。平均気温、最高気温共に8月がピークであり、最低気温1月でピークを迎える。

グラフ1 1981年～2010年における月別降水量、平均気温、最高気温、最低気温



出所：気象庁ホームページ

グラフ2 1981年～2010年における月別降平均降水量

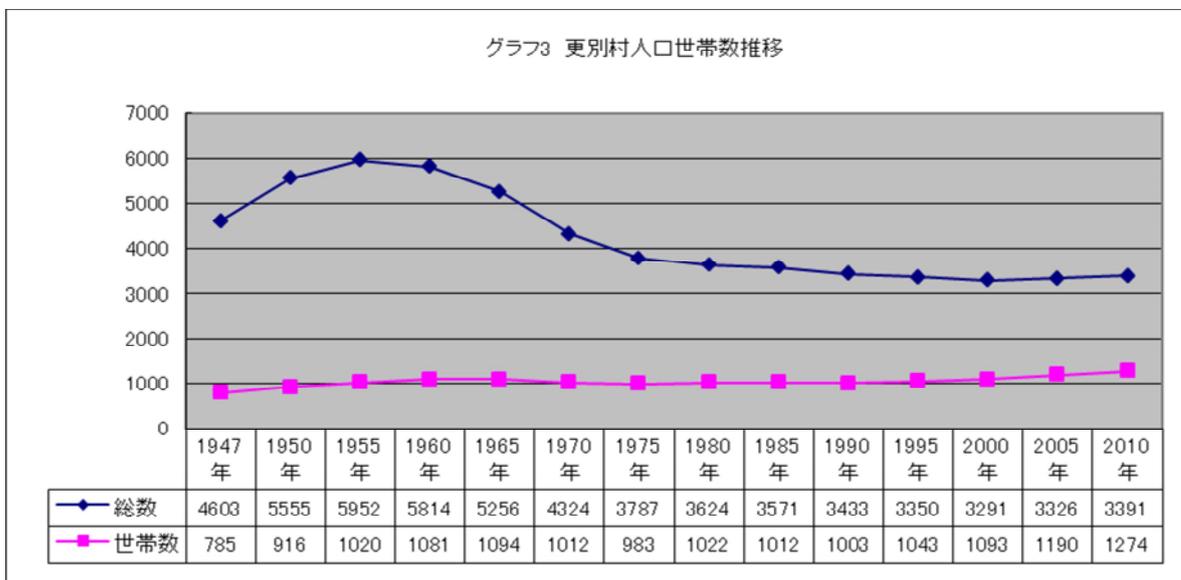


出所：気象庁ホームページ

4. 人口・世帯数推移

更別村の人口は、1955年頃までは増加を続けるが、それ以降は現象傾向が見られる。しかし、2005年から2010年にかけては、人口・世帯数共に若干の増加が確認することができる。また、1955年までの人口増加は、第二次世界大戦が終わると、戦争から兵士が帰還

した際や、戦争の終結に安堵した人々が子供をつくったため、戦後の世代に比べて極端に人口比が高くなる、というベビーブームの影響を受けていると考えられる。

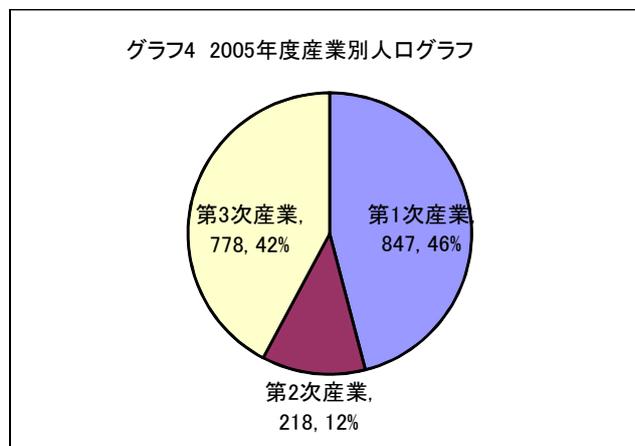


出所：国勢調査

5. 産業

5.1 産業別人口

更別村の産業別人口を見てみると、第一次産業が1番多く、次いで第三次産業、第二次産業の順になっている。更別村の第一次産業の人口が多いのは、更別村が農業に対して特に力を入れているためだと考えられる。



出所：わがマチ・わがムラ

5.2 農業

調査では乳用牛は6,300頭が飼養され、肉用牛も、黒毛和牛を中心に約2,000頭を飼養。耕種と畜産を合わせた農業産出額は、年間約100億円に及んでいる。更別農業の特色は、日高山脈のふもとに広がる平坦な耕地を基盤とした大規模機械化農業だ。その一端を垣間見るのが、1戸当たり4台超を誇る日本有数のトラクター所有台数。ま

画像3 トラクター



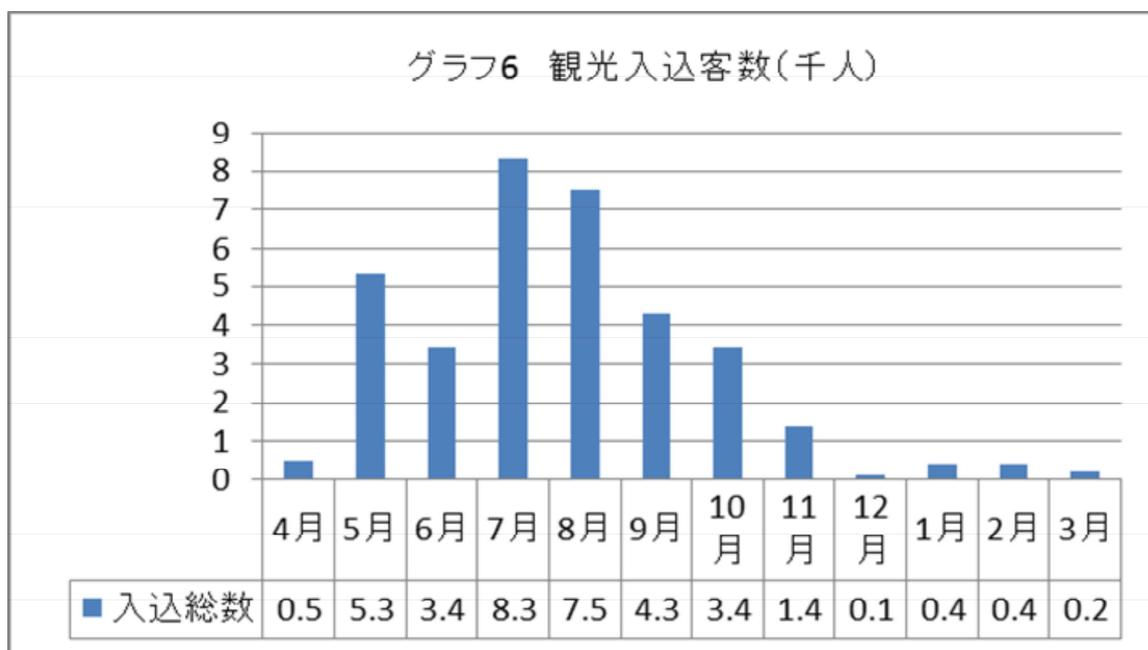
出所：更別村ホームページ

た、より安全・より安心な農畜産物の生産を目指して土づくりや減農薬を積極的に進めるとともに、環境にやさしいクリーンな農業も推進している。そして、年間の農業生産額の合計は 92 億 7000 万円となっていて、グラフ 5 から読み取れるように、乳用牛、いも類、工芸農産物の順に産出額が多くなっている。更別村農業の特色は、日高山脈のふもとに広がる平坦な耕地を基盤として大規模機械化農業である。その一端を垣間見るのが、一戸あたり四台超えを誇る日本有数のトラクター所有台数だ。また、より安全・安心な農畜産物の生産を目指して土づくりや減農薬を積極的に進めるとともに、環境に優しいクリーンな農業も推進している。また、更別村では農業の経営規模の拡大を 1965 年頃から進め、1966 年に一戸当たりの耕地面積が 14.5ha となり、十勝管内で一位を記録した。その後も拡大化が進み、1990 年には二倍超えの 32.3ha、2005 年には総耕地面積 1 万 ha、農家戸数は 247 戸となり、1 戸当たりの経営面積は 43.5ha にまで達した。

6. 観光

6.1. 観光入込客数

グラフ 6 から読み取れるように、更別村における観光入込客数は 7 月が一番多いことがわかる。また、12 月から 4 月にかけての寒い時期には観光入込客数が圧倒的に少なくなることも読み取ることができる。



出所:観光入込客数調査 総合振興局集計表

6.2 観光名所

6.2.1 十勝サーキットウェイ

F1 レースが可能な FIA 公認サーキット「十勝インターナショナルスピードウェイ」は、1993 年、十勝平野を一望するこの丘に総工費 100 億円を費やして完成。北海道初の国際公認サーキットとして知られている。

画像 4 十勝サーキットウェイ



出所：更別村ホームページ

6.2.2 どんぐり公園

国道 236 号線を更別市街から東へ 2km。壮大なスケールを誇る「どんぐり公園」は、憩いと出会いをプレゼントしてくれる。なかでも「プラムカントリー（国際公認コース）」は、3 万坪 54 ホールで十勝を代表するパークゴルフ場として多くの人々で賑わっている。なだらかでいて変化に富んだコース設計で、管内はもとより全道からパークゴルフファンが訪れ、プレーを楽しんでいる。また、家族みんなで楽しむことのできるアスレチックコースや、汗を流した後ちょっと一息つくには最適のプラムハウス、仲間でワイワイ焼肉をするならログハウス風のバーベキューハウスもあり、誰でも気軽に楽しむことのできるレジャーゾーンである。春にはすももの花が咲き乱れる大型農村公園。自然との対話もたっぷり楽しめることであろう。

画像 5 どんぐり公園



出所：更別村ホームページ

6.2.3 福祉の里温泉

主浴槽、バイブラ、寝湯、サウナ、露天風呂を備えたゆったりしたスペースが人気の温泉。泉質はナトリウム塩化物泉（低張性中性冷鉱泉）で、入浴後は塩分が皮膚について汗の蒸発を防ぐ。保冷効果にすぐれ、神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、間接のこわばり、うちみ、くじき、疲労回復、慢性消化器病、痔疾、冷え症、病後回復期、健康増進、虚弱児童、慢性皮膚病、慢性婦人病、きりきず、やけど等に効果的。温泉に加えて施設のロビーもスペースが広く、温泉に入った後では疲れをとり、くつろぎながら過ごすことができる。

画像 6 福祉の里温泉



出所：更別村ホームページ

6.3 イベント

6.3.1 さらべつふるさとまつり

運動広場を会場に、子供樂園広場やステージショーなどの催し物を実施するほか更別の特産品の販売や飲食コーナーではとれたての秋の味覚を満喫することもできる。一番の見ものはチーム対抗の面白いレースである。こんにやくキャッチや二人三脚など、会場の歓声を力に熱い戦いが繰り広げられる。



画像 7 さらべつふるさとまつり

出所：更別村ホームページ

6.3.2 ときめきイルミネーション

国道 236 号線から更別村役場前までの道沿いの周辺の木々や農村公園に 17000 球のイルミネーションが設置される。点灯式では、点灯を参加者でカウントダウンして更別の夜空をイルミネーションで彩る。会場には無料飲食コーナーや、キャンドル作成コーナーなども設けられている。

6.4 特産品

6.4.1 つぶつぶでんぷん

日高産経からの伏流水で昔ながらの自然沈殿方法と低温長時間乾燥によって作られた大粒子の「でんぷん」(片栗粉)である。保水性に優れ野菜などからにじみ出る水を吸収、保持して料理を形よく仕上げる。一般の片栗粉よりも少ない量で、和風洋風および中華のトロミから揚げ、イモだんごに最適な一品である。また、このつぶつぶでんぷんは産業遺産に認定された工場で作られている。



画像 8 つぶつぶでんぷん

出所：更別村ホームページ

6.4.2 イオンたまご

イオン水で育てられた親鳥が生んだ新鮮な卵。黄身に張りがあり、また臭みがないためにおいしく、毎日の健康に欠かすことのできない食品である。国道 236 号沿いの自動販売機でも入手することが可能だ。また、1 ダース (12 個入り) で 200 円と価格も手頃である。



画像 9 イオンたまごの自動販売機

出所：おいしい北海道

参照ホームページ

- 北海道 更別村: <http://www.sarabetsu.jp/kankou.php>
- 更別村文化史:
http://www.tokachi.pref.hokkaido.jp/d-archive/sityousonsi/sarabetsu_bunka_seikatu.html
- Yahoo 画像検索: <http://search.yahoo.co.jp/image>
- 北の道ナビ: <http://northern-road.jp/navi/>
- 気象庁 HP: <http://www.jma.go.jp/jma/index.html>
- 国勢調査: <http://www.stat.go.jp/index.htm>
- 観光入込客数調査 総合振興局集計表:
http://www.tokachi.pref.hokkaido.lg.jp/ss/srk/H22_tokachi_kankouirikomikyakusuu9.7.pdf
- おいしい北海道: <http://oisihokkaido.blog112.fc2.com/>